

東成瀬 図書館だより

〒019-0801

秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1

TEL 0182-38-8711 FAX 0182-38-8712

E-mail narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

2023. 6 月号 No. 95 発行

東成瀬公民館図書室

☆令和 5 年 7 月の特集&新着案内 〈一般書〉

◎ 「梅雨から夏へ」

「雨ダルさん」の本
熱中症撃退レシピ

わが家のおいしい梅干し・梅シロップ・梅酒のレシピ 柳澤由梨

みんなの節電生活

ラク旨!無限そうめんレシピ

夏つまみ

鉢植えで育てやすい花木・実もの・きれいな葉 船越 亮二

60 歳からの疲れしない家事

フサフサ大作戦!

2030 年 すべてが「加速」する世界に備えよ

ピーター・ディアマンディス 他

佐藤 純

ムック

木村 俊雄

木村 俊雄

ソーメン二郎

きじま りゅうた

船越 亮二

本間 朝子

久田 篤

◎ 「よる・ほしのおはなし」

ヨルとよる

よるのあいだに…

星につたえて

ブルドッグたんていときえたほし

ほしのおんがくかい

よるのやおやさん

お札に登場した偉人たち 21 人

じゅんくんの学校

ピースがうちにやってきた

トスカのおくりもの

あさの ますみ

ポリー・フェイバー

安東 みきえ

谷口 智則

齋藤 槇

穂高 順也

河合 敦

福田 隆浩

村上 しいこ

マシュー・スタージス

◇今月のオススメの一冊◇

『みんなの節電生活』

木村 俊雄 / 著



いざ、セッデン! 大切なお金と暮らしを守るために、高騰する電気代をしっかりと抑えよう。

「賢者の節電術」がズバリわかる一冊。

『ながればし』

小杉 みのり / 作



そらをすべるみたいに、すーっとながれてあつというまに きえていく。どこからきてなにになる?

不思議で壮大な流れ星の写真絵本です。巻末には流れ星や流星群の解説も。

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

☆図書室利用案内☆

7 月の休館日

2 日(日)

16 日(日)

17 日(祝)

30 日(日)

開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分

休館日

・第 1、3、5 日曜日 ・祝祭日

・年末年始

図書の貸出

10 冊まで

視聴覚資料

3 点まで (DVD・CD など)

貸出期間

3 週間

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★



わたしのとっておきの一冊

地域おこし協力隊・なるテック

紺野 元生 さん からの オススメ



『2030年:すべてが「加速」する世界に備えよ』

ピーター・ディアマンドイス / 著
ニューズピックス

簡潔に言うと「バック・トゥ・ザ・フューチャー」「機動戦士ガンダム」など、映画やアニメに出てくるSFの世界が現実になるということ伝えてくれています。空飛ぶ車や、AI ロボット、火星移住など考えただけでもワクワクしませんか？著書は「買い物、広告、エンターテインメント、教育、保険、金融、不動産、食料、医療、寿命」の項目別で、想像しやすいように具体的な事例と全て現実に行えることを前提にして語られており、現在進行形で見聞きするものもあるので、とても理解しやすい内容です。特に私が気に入っているのはAR（拡張現実）コンタクトレンズのところで、最終的には脳に映像を直結させるという内容に、興奮しきりでした。某アニメのようですね！

項目ごとにたくさんの事例が詰まっているので、自分の興味がある分野から読み進めることもできます。未来予測は何事においても大切であると思っています。あなたも未来の世界、そして自分の未来を想像してみてください！

● 地域おこし協力隊の皆さんからのオススメを連載しています。
お楽しみに！

おしらせ

あかちゃん絵本コーナー リニューアル！

赤ちゃんのための絵本コーナーに新しい絵本が入りました。



赤ちゃんと一緒に親子で楽しんでみてください。

※ 6月19日(月)から保育園玄関前に陳列している『なるせっこパック』では、赤ちゃん向け絵本のリサイクルも行っていますので、こども服同様ご自由にお持ち帰りください。



読みかたリグループ



『つくしんぼ』コーナー

おはなし会は

7月1日(土)

10:30~11:00
です

会員のつびやき

会員 時野 康子 さん

絵本関係の研修会で、おすすめの絵本を・・・と言われ、「けしごむくん」を紹介した。

この絵本に出会ったのはずいぶん前になる。次々と新しい絵本が出版される中で、まだこの本なの？と笑われそうなので「なぜ？」と自問自答してみた。

目立たない地味なけしごむが、箱の隅っこで長い間買ってくれる人を待っていた。やがて勉強家のおじいさんのけしごむになって一生懸命働いた。結果、どんどん小さくなっていったものの、自分の役目を果たし、幸せなけしごむ人生を全うする。ふりかえりの作文を卒業論文として発表し、ついに卒業式を迎える、というお話である。

一見、小さい子ども向けの絵本に見えるが、受け取り方によってはとても内容が深く、濃い。息苦しさを感ずるほど不思議な絵本である。自分の人生と重なり、共感できる場所もあって大好きな本です。

更に読むたびに新しい発見があるし、聞いてくれる対象者の年齢にかかわらずいろいろな気づきがあると思う。

最近、突然持ち主がいなくなり使われないままの「物」を眺め、この子(物)たちをどうやって卒業させようかとため息をつく・・・

また、「消しゴムは消すだけにあらず」という文が載っているポスターを見かけた。けしごむ人生も多様化??

